

製造業のビジネスチャンスが見える
モノづくり最新情報サイト
じゃぱんお宝にゅ〜す
<https://japan.otakaraneews.com>

じゃぱんお宝にゅ〜す

モノづくり現場の未来を見つめる
製造業応援サイト
じゃぱんお宝WEB新聞
最新情報満載！好評配信中！



Offshore & Port Tech 2024 in Sea Japan 出展

川崎港で採用！イグスのケーブル管理システム Offshore & Port Tech 2024に製品(実物)展示 世界の陸上給電をリードする先進事例紹介

港湾ケーブル管理システム

イグス株式会社(東京都墨田区)は、2024年4月10日(水)から4月12日(金)までの3日間、東京ビッグサイトで開催される「Offshore & Port Tech 2024 in Sea Japan」に出展する。

「Offshore & Port Tech 2024 in Sea Japan」は、国内で初開催のオフショア・港湾技術にフォーカスした展示会。カーボンニュートラルポートなど、日本国内で動きが活発化している新たな海の産業に関する展示やセミナーが行われる。

イグスの見どころ

イグスは本展示会に日本初の陸上給電設備を有する川崎港で採用されたケーブル管理システムなどの製品(実物)を展示するとともに、海外15以上の港における採用事例を紹介する。

また4月11日(木)には、イグス港湾事業責任者が陸上給電関係者向けのセミナーに登壇。世界の陸上給電をリードするイグスの先進事例や、日本の港で陸上給電を導入する際の検討事項、障壁と解決策について解説する。

カーボンニュートラルポート(CNP)形成の柱となる「陸上給電」

「2050年カーボンニュートラル」などの政府目標のもと、日本の産業や港湾の競争力強化と脱炭素社会の実現に貢献するため、近年国交省が国内のCNP形成を推進している。

CNPは、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化やクリーンエネルギー受入環境の整備などを図る港を指す。CNP形成の一つの柱として注目されるのが、停泊中の船舶に陸上の電力を供給する「陸上給電」。停泊中の船舶から発生するCO₂排出量は、港湾区域・臨港地区におけるCO₂排出量の約3割(※1)ともいわれ、供給方法を従来のディーゼルエンジンから陸上電源供給に置き換えることで高い削減効果が期待されている。世界的には陸上電力供給への転換が進んでいる一方、日本国内ではまだ事例が多くないが、今後国内の港湾における新たな取り組みとして注目されている。

陸上給電におけるイグスの実績

イグスは、陸上給電設備に欠かせないケーブル管理システムを提供し、20

16年以降ノルウェーやバーレーン、ドイツなど海外の港15以上に導入されるなど世界トップクラスの実績を有している。

電力と船をつなぐための豊富なノウハウと樹脂部品メーカーとしての強みを生かしたケーブル管理システムの性能が評価され、2022年4月に日本初の陸上給電設備が誕生した川崎港でも、イグスのケーブル管理システムが採用されている。

川崎港に導入された設備は、EVタンカーに高速充電するための陸上給電設備(EV船用給電ステーション)で世界初となる。川崎市は、1隻あたり年間約365トンのCO₂(一般家庭約250世帯分の年間消費電力量相当)削減が可能になると試算している。

イグスの出展内容

(1)本展示会には、世界の港の陸上給電設備を支えるケーブル管理システムを国内初展示する。ブースでは、海上に停泊する船に陸上から給電するためのケーブルマネジメントシステム(CMS)をはじめとした製品実物を国内で初めて展示する。

(2)期間中は、陸上給電の先進事例や障壁、解決策についてイグス港湾事業

責任者が講演を行う。4月11日(木)に、陸上給電関係者向けセミナーにイグスの港湾事業責任者である山下 茂樹氏が登壇する。

講演では、世界の陸上給電をリードするイグスの先進事例や、日本の港で陸上給電を導入する際の検討事項や障壁、解決策について紹介するほか、イグスの国内CNP事業参加の展望や目指す立ち位置についても解説する。

展示会開催概要 セミナー講演概要

- 展示会開催概要
 - 会期：4月10日(水)～12日(金)
 - 時間：10:00～17:00
 - 会場：東京ビッグサイト
 - 出展ブース：東1-3ホール 1D-32
 - 来場：事前登録推奨
 - 展示会専用WEBサイト
 - <https://www.seajapan.ne.jp/ot/>
- セミナー講演概要
 - 開催日：2024年4月11日(木)
 - 開催時間：13:40～14:10
 - 登壇者：山下 茂樹氏(やました しげき)
 - テーマ：「陸上給電における船舶への接続機器とソリューションの紹介」
 - 場所：C会場(C-13)

(※資料提供：イグス)

川崎港の陸上給電設備イメージ図



採用製品：

- triflex R (ケーブル保護管)
- chainflex (ケーブル)



■イグスURL→ <https://www.igus.co.jp/>